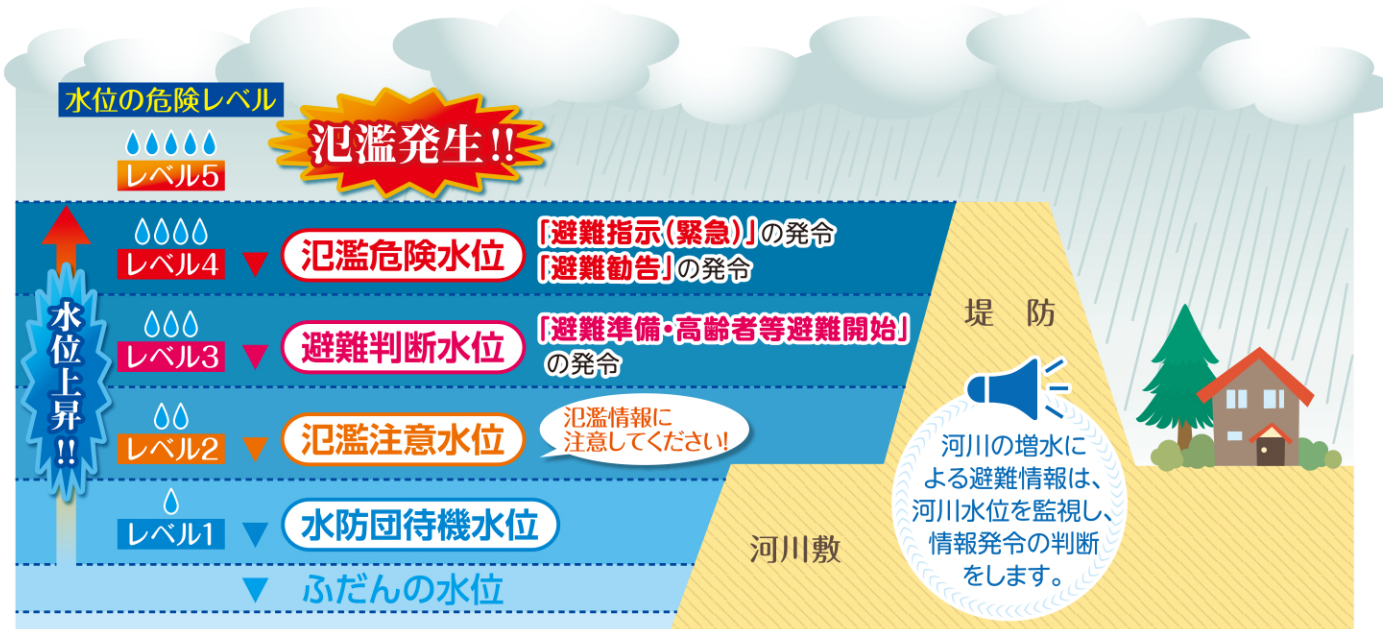




水害への備え

● 河川氾濫の危険レベルと避難の注意点

気象庁から記録的短時間大雨情報が発表されるほどの雨が降ると、浸水被害や崖崩れ、土石流、地滑りなどの土砂災害が発生します。また水の力はとても強く、大雨による浸水被害が起こった場合、人や車は簡単に押し流されてしまいます。大雨が予想される時は、水辺に近づかないようにしましょう。



水防団待機水位

月形(月形大橋付近)	奈井江大橋
10.40m	14.00m

大雨などにより、この水位を越えると水防関係機関が水防活動の準備に入ります。

テレビ、ラジオなどの最新の気象・洪水情報に注意し、警戒を強めてください。また、避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難の準備を整えましょう。

氾濫注意水位

月形(月形大橋付近)	奈井江大橋
12.30m	15.80m

洪水注意報の基準となり、災害の恐れがある水位です。この水位を越えると水防関係機関が出勤します。

避難判断水位

月形(月形大橋付近)	奈井江大橋
15.30m	19.70m

避難準備・高齢者等避難開始の発令基準となる水位です。

避難に時間を要する人とその支援者は避難を開始し、その他の人は避難の準備を整えましょう。避難の際は危険な場所は通らないようにしましょう。

氾濫危険水位

月形(月形大橋付近)	奈井江大橋
15.60m	20.00m

避難勧告等の発令基準となり、家屋浸水等の被害を生じる氾濫の恐れがある水位です。

速やかに避難所へ避難しましょう。外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

歩ける深さは膝下まで!



水かさが増し、水の流れが速くなればなるほど、水の力も強くなり、徒歩での避難が難しくなります。水深が腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理をせず、高い場所で救助を待ちましょう。

車が浸水したらすぐ外へ!



水深が約30cm前後に達すると、車のエンジンが停止する可能性があり、水深と流速が増すと車ごと流される危険もあります。車が浸水した場合は、すぐに外に出ましょう。

避難に遅れたら…



万一、避難に遅れ危険が迫った時には、自宅の2階か近くの頑丈な建物の2階以上に逃げましょう。

避難する時は裸足や長靴は避け、ひもで締められる運動靴などを履きましょう!

